

1973年 春休み帰省旅行②～中国地方の旅

1973年2月22日(木)～25日(日)

【1973年2月22日(木)】

(1) 福知山線、山陰本線(福知山～松江)

京都の友人の下宿に1泊し、翌日は大阪の伯父の家にも1泊し、今日は大阪から出発です。大阪を9時50分発の福知山線経由の急行「だいせん1号」で鳥取に向かいました。

福知山線は尼崎と福知山間を結ぶ路線で、当時は宝塚から三田までのトンネルの多い新線が開通していなかったため、武庫川の渓谷沿いを走る車窓風景に感激しました。何十年も経って新線が開通したこと

福知山線のダイヤ

急行だいせん1号	
大 阪	9:50
尼 崎	↓
塚 口	↓
伊 丹	↓
北 伊 丹	↓
川 西 池 田	↓
中 山 寺	↓
宝 塚	10:18
生 瀬	↓
武 田 尾	↓
道 場	↓
三 田	10:42
広 野	↓
相 野	↓
藍 本	↓
草 野	↓
古 市	↓
南 矢 代	↓
篠 山 口	11:07
丹 波 大 山	↓
下 滝	↓
谷 川	11:24
柏 原	11:33
石 生	↓
黒 井	↓
市 島	↓
丹 波 竹 田	↓
福 知 山	11:58

を知らずに福知山線に乗車した時、車窓風景の違いに少しがっかりした記憶があります。違う路線に乗ったような気がして自分の記憶違いかと思ったくらいでした。

福知山には11時58分に到着し、この時点で福知山線は全線乗車しました。その後、新線区間も乗車したので新旧両方を乗車しました。福知山を12時03分に出発し、鳥取には14時43分に到着しました。その途中に有名な余部鉄橋も通過していますが、そのことは記憶に残っていません。

鳥取での約2時間の

<1973年2月22日>

○大阪

9:50 発
福知山線(急行)だいせん1号
[大社・益田・長門市行] 2時間08分
11:58 着

○福知山

12:03 発
山陰本線(急行)だいせん1号
[大社・益田・長門市行] 2時間40分
14:43 着

○鳥取

16:58 発
山陰本線(急行)大社
[米子・大社行] 2時間11分
19:09 着

○松江

山陰本線のダイヤ

急行 大社	
鳥 取	16:58
湖 山	↓
末 恒	↓
宝 木	↓
浜 村	17:15
青 谷	↓
泊	↓
松 崎	17:32
倉 吉	17:38
下 北 条	↓
由 良	↓
浦 安	17:52
八 橋	↓
赤 砦	↓
中 山 口	↓
下 市	↓
御 来 屋	↓
名 和	↓
大 山 口	↓
淀 江	18:21
伯耆大山	↓
米 子	18:36
安 来	18:46
荒 島	↓
揖 屋	↓
馬 潟	↓
松 江	19:09

山陰本線のダイヤ

急行 大社	
鳥 取	16:58
湖 山	↓
末 恒	↓
宝 木	↓
浜 村	17:15
青 谷	↓
泊	↓
松 崎	17:32
倉 吉	17:38
下 北 条	↓
由 良	↓
浦 安	17:52
八 橋	↓
赤 研	↓
中 山 口	↓
下 市	↓
御 来 屋	↓
名 和	↓
大 山 口	↓
淀 江	18:21
伯耆大山	↓
米 子	18:36
安 来	18:46
荒 島	↓
揖 屋	↓
馬 潟	↓
松 江	19:09

列車待ちの間に鳥取砂丘を見に行きましたが、その時の写真には全く人が写っていませんでした。たまたま、その日は観光客が少なかったのかもしれません。砂丘観光を終え、鳥取を 16 時 58 分発の急行「大社」に乗り、松江に 19 時 09 分に到着しました。松江で宿泊したのは、日本育英会の奨学生手帳の巻末に書かれていた小さな旅館でしたが、場所や名前は全く記憶にありません。

【1973 年 2 月 23 日(金)】

(2) 山陰本線(松江～出雲市)、大社線、木次線(宍道～木次)

この日は朝のうちに松江城と小泉八雲記念館を見学しており、松江城の写真と記念館のスタンプが残っていました。その後、松江を 9 時 20 分発の列車で出雲市に 10 時 05 分に着き、11 時 22 分の大社線に乗って 11 時 36 分に大社に到着しました。大社線は出雲市と大社を結ぶ 7.5 km で 4 駅しかない短い路線でしたが、1990 年に廃止されています。

出雲大社に参拝し、12 時 54 分の列車で出雲市に戻り、松江に 15 時 13 分に到着しました。その時、どこかの駅で撮影した貨物列車を牽引する S L の写真が残っていましたが、どの駅で撮影したものかは不明です。

松江から広島に行くため、15 時 54 分発の列車に乗り木次に 17 時 07 分に到着し、夜中に到着する広島行きの急行「ちどり」を待つことにしました。

木次駅前の食堂で夕食を食べ、駅のベンチで横になって列車を待っていましたが、松江市内に居て急行の始発に乗った方が良かったのかもしれません。



<1973 年 2 月 23 日>

○松江	9:20 発
	山陰本線(普通)[出雲市行]45 分
	10:05 着
○出雲市	
	11:22 発
	大社線(普通)[大社行]14 分
	11:36 着
○大社	
	12:54 発
	大社線(普通)[出雲市行]13 分
	13:07 着
○出雲市	
	14:05 発
	山陰本線(普通)[福知山行]1 時間 08 分
	15:13 着
○松江	
	15:54 発
	木次線(普通)[木次行]4 時間 35 分
	17:07 着
○木次	

山陰本線のダイヤ

	249D
松 江	9:20
乃 木	9:24
玉 造 温 泉	9:29
来 待	9:36
宍 道	9:44
莊 原	9:52
直 江	9:59
出 雲 市	10:05

大社線のダイヤ

	137D
出 雲 市	11:22
出 雲 高 松	11:27
荒 茅	11:31
大 社	11:36

木次線のダイヤ

	459D
山 隊	15:54
乃 木	15:59
玉 造 温 泉	16:04
来 待	16:11
宍 道	16:19
南 宍 道	16:26
木 次	16:40
幡 屋	16:46
出 雲 大 東	16:53
南 大 東	17:07
木 次	17:07

【1973年2月24日(土)】

(3) 木次線(木次～備後落合)、芸備線(備後落合～広島)

木次を0時25分発の広島行き急行「ちどり」に乗り、備後落合に2時23分に到着し、木次線は全線乗車です。備後落合から広島までは芸備線となり、第2部で2020年2月27日に芸備線の三次から備中神代まで乗車しましたが、この日の乗車区間と併せて芸備線は全線乗車となりました。

広島には早朝5時に到着し、その日は高校時代の友人の下宿に泊めてもらいました。



木次

<1973年2月24日>

- | | |
|-------|-----------------------|
| ○木次 | 0:25 発 木次線 |
| | (急行)ちどり3号[広島行] 1時間58分 |
| | 2:23 着 |
| ○備後落合 | 2:26 発 芸備線 |
| | (急行)ちどり3号[広島行] 2時間34分 |
| | 5:00 着 |
| ○広島 | |

【1973年2月25日(日)】

(4) 呉線(広島～仁方)、仁堀連絡船

<1973年2月25日>

- | | |
|-----|-----------------------|
| ○広島 | 12:59 発 |
| | 呉線(普通)[三原行] 1時間08分 |
| | 14:07 着 |
| ○仁方 | 14:30 発 |
| | 仁堀連絡船 5便 [堀江行] 2時間05分 |
| | 16:35 着 |
| ○堀江 | 17:03 発 |
| | 予讃線(普通)[八幡浜行] 23分 |
| | 17:26 着 |
| ○松山 | |

呉線のダイヤ

	3938M
広 島	12:59
向 洋	13:04
海 田 市	13:07
矢 野	13:11
坂	13:15
小 屋 浦	13:21
天 応	13:25
吉 浦	13:31
川 原 石	13:35
呉	13:53
安 芸 阿 賀	13:58
広	14:03
仁 方	14:07

この日は広島を12時59分発の呉線に乗り、四国と中国地方を結ぶ2つの国鉄連絡船のうち、メインの宇高連絡船でない「仁堀連絡船」が就航する仁方で降り、14時30分発の堀江丸で堀江港に渡りました。この連絡船も1982年に廃止され、もう乗ることはできません。堀江港から堀江まで歩き、8日間の旅を終えて松山に到着しました。

木次線のダイヤ

急行 ちどり	
木 次	0:25
日 登	↓
下 久 野	↓
出 雲 八 代	↓
木 次	1:00
線	
亀 嵩	↓
出 雲 横 田	1:17
八 川	↓
出 雲 坂 根	1:47
三 井 野 原	2:02
油 木	↓
備 後 落 合	2:23 2:26
比 婆 山	↓
備 後 西 城	2:45
平 子	↓
高	↓
備 後 庄 原	3:05
備 後 三 日 市	↓
七 塚	↓
山 ノ 内	↓
下 和 知	↓
塩 町	↓
神 杉	↓
八 次	↓
三 次	3:50
芸 備 線	
西 三 次	↓
志 和 地	↓
上 川 立	↓
甲 立	↓
吉 田 口	↓
向 原	↓
井 原 市	↓
志 和 口	↓
上 三 田	↓
中 三 田	↓
白 木 山	↓
狩 留 家	↓
上 深 川	↓
中 深 川	↓
下 深 川	↓
玖 村	↓
安 芸 矢 口	↓
戸 坂	↓
矢 賀	↓
広 島	5:00